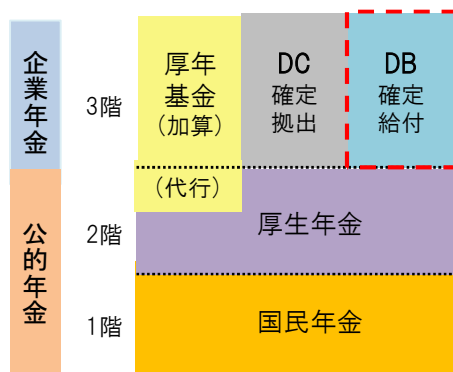


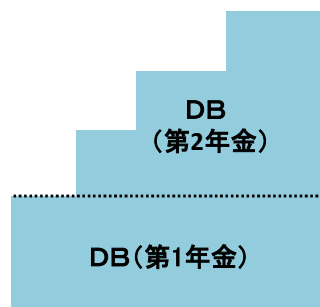
日本ITソフトウェア企業年金基金のご案内 (愛称:ITS基金)

日本ITソフトウェア企業年金基金は、全国のIT関連企業で働く方々の高齢期の生活の安定と福利厚生を行う厚生労働省所管の団体です。

【わが国の年金制度】



ITS基金(確定給付企業年金)



* 第1のみ加入、第2のみ加入、
第1と第2両方加入から選択

◎第2年金(1口1,000円)

- ・定額コース(1口～55口)
- ・変額コース(1口～55口)

* 両コースとも口数は自由に設定可

◎第1年金

- ・厚年標準報酬月額×1.1%

基金加入のメリット

1. 企業に対する信頼感が高まります
2. 優秀な人材の確保とその定着化につながります
3. 社員・社長の皆さまの老後生活の安定が図れます
4. 事業主にご負担いただく毎月の掛金は全額損金処理できます
5. 自社の退職金制度の一部として活用でき、資金準備の平準化が図れます

ITS基金の特長

1. 加入者の範囲を限定することも可能
◆正社員以外の有期契約社員、パートタイマー、定年後の継続雇用者等を除くことも可能
2. キャッシュバランスプランの採用により、安定的な財政運営が可能
◆掛金と利息を毎月積立てし、退職時までの残高を一時金・年金で支給する制度です
◆市場の運用実績に利息が連動するので、積立不足が発生しにくく、安定的な運営が可能
3. ライフスタイルに合わせた多様な設計
◆3年以上10年未満加入の方に「一時金」を支給
◆10年以上加入の方に「年金」を支給(一時金として受給也可)
* 年金の受給期間は、5年、10年、15年、20年、終身から選択
◆年金の受給権がない方は、一時金で受け取らず、転職先の企業年金やiDeCoへの移換も可能
4. 新規加入時の特例
◆新規加入時には、当基金加入前の当該事業所の勤続期間も加入期間として通算します。また、その期間分の掛金を納付することもできます(年金・一時金の受給要件を満たしやすくなります)



今と将来の安心はITS 健保・基金で!

日本ITソフトウェア企業年金基金 業務グループ

資料請求はこちらまで!

ご訪問またはオンラインでご説明させていただくことも可能です。

〒107-0052 東京都港区赤坂2-5-7 渡辺商事赤坂ビル3階

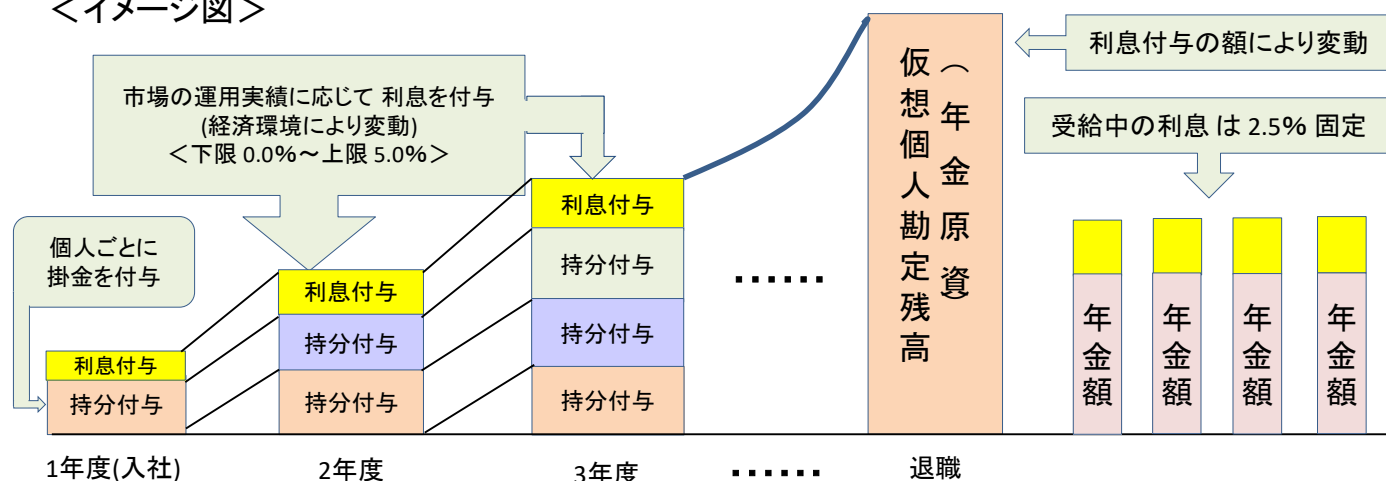
電話 03-5114-5517 メール kanyu@its-kikin.or.jp WEB <https://www.its-kikin.or.jp/>

ITS基金の制度概要

1. 給付の仕組み(キャッシュバランスプラン)

- ・加入から退職までの間、一定額を個人ごとに付与した掛金額と一定期間ごとに算出した利息の合算額を退職時の一時金や将来の年金原資とするものです
- ・あらかじめ定めた経済指標の実績に連動して付与する利息が変わりますので、安定的な財政運営が可能な制度です
※ 経済指標とは、当基金の場合、運用資産の構成割合に基づく市場平均収益率
- ・加入中の利息(0～5%)は保証されており、毎年1回、個人毎に積立額をお知らせいたします

<イメージ図>



<利息の状況>

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
4.6%	2.3%	5.0%	0.0%	3.7%	4.4%

* 毎年1～12月の「複合ベンチマーク - 0.5%」⇒ 翌年4～3月に適用

2. 加入形態(2つの年金制度)

事業主の負担余力や給付水準に合わせて第1年金、第2年金、両方加入から選択できます
第1年金 ⇒ 福祉事業が充実 第2年金 ⇒ 多様なニーズに対応 & 事務費が第1年金より安価

区分	第1年金	第2年金
加入者の範囲	厚生年金の被保険者の全員または一部 加入可能年齢等の上限を選択(65歳または70歳) (正社員以外の有期契約社員、パートタイマー、定年後の継続雇用者等を除くことが可能)	
年金掛金(月額)	厚生年金の標準報酬月額 × 1.1% (参考 968円 ～ 7,150円)	◆事業所毎に口数設定可能 <定額コース> 1,000円 × 口数(1口～55口) ◆役職等で個別に設定可能 <変額コース> 1,000円 × 口数(1口～55口)
事務費掛金(月額) <基金運営費>	厚生年金の標準報酬月額 × 0.15% (参考 132円 ～ 975円)	1口100円(上限500円) (第1年金も加入の場合は一律100円)
福祉事業	◆各種セミナー(年金受給、公的年金、資産形成、介護、相続、新入社員等) ◆結婚情報サービス機関・結婚式場・葬祭場の割引利用	
福利厚生サービス 「Benefit Station」	利用できます	利用できません